

昭和小学校区

HAZARD MAP 多治見市 土砂災害・洪水



家族で考えよう! やってみよう! 新しい避難様式

多治見市では、今後発生する恐れがある地震および風水害、土砂災害に対する危険度等を掲載した「多治見市防災ハザードマップ」を作成しました。このハザードマップを利用して災害に対する危機意識を持っていただき、災害が発生したときの安全かつ迅速な避難や事前の備えについて、日ごろから家族や地域の皆さんで話し合ひましょう。

【問い合わせ先】多治見市役所 企画部企画防災課
〒507-8703 岐阜県多治見市日ノ出2丁目15番地 TEL.0572-22-1111 (代表)
https://www.city.tajimi.lg.jp/

令和3年5月作成

避難時の行動・心得

- ✓ 早めの避難を心がけましょう**
浸水してからの自宅外避難は危険です。テレビやラジオ、河川水位などの情報をもとに、身の危険を感じたら避難行動を待たずに自主的に避難を開始してください。
- ✓ 要配慮者の安全を第一に**
お年寄りや子ども、体の不自由な人などの安全を第一に考えて動きまわります。
- ✓ 安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません**
自宅が浸水や土砂災害の危険がない地域の場合や、堅牢なマンションの上層階で、浸水した水が引くまで我慢でき、食料や水、トイレなどの備えがある場合は自宅にとどまり安全を確保することも可能です。
- ✓ 避難所における感染症対策**
感染症の感染リスクがあっても、災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です。
- ✓ 避難場所・避難経路・避難方法を確認しましょう**
浸水に対して安全な避難場所と避難経路を平時から家族や地域で確認しておきましょう。車での避難は緊急自動車の通行を妨げるとともに、交通渋滞を引き起こす可能性もありますのでやめましょう。
- ✓ ご近所声をかけましょう**
避難での避難は、思わぬ事態にあつた時に危険です。避難する前に近所の人に声をかけ、二人以上での避難を心がけましょう。
- ✓ 豪雨時の屋外移動は車も含め危険です**
やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認してください。
- ✓ マスク・アルコール消毒液・体温計などを持参しましょう**
マスク・アルコール消毒液などを非常持ち出し品に加えておき、避難先へ持参するようにしましょう。感染対策としてごみ袋なども出来るだけ持参しましょう。

「自らの命は自ら守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましよう。

非常持出品・常備品

必要なものにチェックして準備しておきましょう。

●非常持出品リスト 避難するときに最初に持ちだすものの例です。

非常食品	通信・情報機器類	貴重品
<input type="checkbox"/> 飲料水 <input type="checkbox"/> アルファ米 <input type="checkbox"/> 携行用缶(パン) 栄養食 <input type="checkbox"/> 機能性食品 ※ビタミンミネラルなどの栄養が強化された食品 <input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 携帯電話・スマートフォン <input type="checkbox"/> 充電器(充電ができるもの) <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ(FM/AM) <input type="checkbox"/> 乾電池	<input type="checkbox"/> 免許証コピー <input type="checkbox"/> 健康保険証コピー <input type="checkbox"/> 権利証書コピー <input type="checkbox"/> 通帳・印鑑
救急・応急医療品	日用品・防寒・防暖	その他
<input type="checkbox"/> ヘルメット <input type="checkbox"/> 防災ずきん <input type="checkbox"/> ホットジェル <input type="checkbox"/> 小型ナイフ <input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/> 懐中電灯・ろうそく <input type="checkbox"/> 衣類、毛布 <input type="checkbox"/> うちわ <input type="checkbox"/> 手ぶる	<input type="checkbox"/> 粉ミルク・哺乳瓶 <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> 生理用品 <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 救急用品(傷薬、ばんそうこう、解熱剤など) <input type="checkbox"/> アルコール消毒液

●常備品 災害復旧までの数日間(3日間〜1週間程度)生活できるように準備しておくものです。

飲料水・非常用食品	燃料	その他
<input type="checkbox"/> 飲料水(1人1日3L) <input type="checkbox"/> 缶詰 <input type="checkbox"/> トイレ <input type="checkbox"/> 食品など	<input type="checkbox"/> 卓上・携帯コンロ <input type="checkbox"/> 予備のガスボンベ <input type="checkbox"/> マッチ・ライター <input type="checkbox"/> 乾電池	<input type="checkbox"/> キッチン用ラップ <input type="checkbox"/> アルミホイル <input type="checkbox"/> 虫かご <input type="checkbox"/> 裁縫セット <input type="checkbox"/> 携帯・簡易トイレ <input type="checkbox"/> お薬手帳 <input type="checkbox"/> 筆記用具

浸水想定最大規模マップ L2

～1000年に1度程度発生する降雨～

浸水想定最大規模(L2)とは
水防法の改正(平成27年5月)により従来の「計画規模降雨(L1)」による洪水浸水想定区域だけでなく「想定最大規模降雨(L2)」による洪水浸水想定区域を包含することが定められた。想定最大規模降雨は、値が定めている「地域ごとの最大降雨量」を基に設定する。近隣の河川における降雨が対象河川でも同じように発生するよう考えに基づき、対象河川の流域だけでなく、周辺地域で観測された最大の降雨量により設定するものである。

浸水が想定される河川

- 土岐川 浸水想定計画規模 L2**
発生頻度 1000年に1度程度発生する降雨
降雨条件 土内川流域の24時間総雨量637mm
公表：令和2年6月14日 岐阜県
- 大原川 浸水想定計画規模 L2**
発生頻度 1000年に1度未満発生する降雨
降雨条件 大原川流域の24時間総雨量836mm
公表：令和2年6月14日 岐阜県
- 笠原川 浸水想定計画規模 L2**
発生頻度 1000年に1度未満発生する降雨
降雨条件 笠原川流域の24時間総雨量836mm
公表：令和2年6月14日 岐阜県
- 平田川合流点より下流 浸水想定計画規模 L2**
発生頻度 想定し得る最大規模の降雨
降雨条件 平田川合流点より下流の24時間総雨量836mm
公表：令和2年6月14日 岐阜県
- 平田川合流点より上流 浸水想定計画規模 L2**
発生頻度 想定し得る最大規模の降雨
降雨条件 笠原川流域の24時間総雨量836mm
公表：令和2年6月14日 岐阜県
- 深山1番1から上流 浸水想定計画規模 L2**
発生頻度 想定し得る最大規模の降雨
降雨条件 洪水到達時間(約49分)内の降雨量131mm
1時間あたりに換算すると160mm/h
公表：令和2年5月31日 岐阜県

浸水の深さの見方
想定される浸水の深さを色で分けています。
20.0m...6階～7階まで水につかるくらい
10.0m...3階まで水につかるくらい
5.0m...2階下くらい
3.0m...1階下くらい
1.0m...大人のひざくらい
0.5m...大人のひざくらい

土砂災害の凡例
土砂災害特別警戒区域
土砂災害警戒区域
急傾斜地(がけ)割れ
地すべり
土石流
急傾斜地(がけ)割れ
地すべり
土石流

浸水の凡例
浸水警戒区域
浸水深(m)
0.5m未満
0.5～1.0m
1.0～3.0m
3.0～5.0m
5.0～10.0m
10.0～20.0m
20.0m以上

土砂災害とは

がけ崩れや土石流、地すべりにより、大量の土砂が居住地に流れ込むことで人的・物的に被害が生じる災害のことをいいます。土砂災害が特に発生しやすい場所は、「土砂災害(特別)警戒区域」に指定されています。土砂災害の多くは集中豪雨や台風によって引き起こされます。住まいや勤め先ごとの土砂災害(特別)警戒区域内にある場合、大雨が予想されるときは細心の注意を払い、早めの判断・行動を行うようにしておきましょう。

土砂災害警戒区域 (通称「イエローゾーン」)	土砂災害特別警戒区域 (通称「レッドゾーン」)
がけ崩れなどが発生した場合に、住民等の生命又は身体に著しい被害が生じるおそれがある区域(この区域では、土砂の流れ込みで、命を落としたり、けがをしたりする可能性が高い)。	がけ崩れなどが発生した場合に、建築物に被害が生じ住民等の生命又は身体に著しい被害が生じるおそれがある区域(この区域では、土砂の流れ込みによる建物の損壊の可能性が高く、イエローゾーン以上に危険度が高い区域となります)。

こんな時は危険!
●斜面のひび割れや変形
●崖から水が出ている
●小石が落ちてくる

がけ崩れイメージ図
警戒区域
特別警戒区域
急傾斜地(がけ)崩れとは
急傾斜地(傾斜度30度、高さ5m以上)において、次に該当する区域。
●上端から水平距離10m以内 ●斜面 ●下端から水距離で急傾斜の高さ(h)に相当する距離の2倍以内(最大50m)

イエローゾーン
レッドゾーン
急傾斜地(がけ)崩れとは
急傾斜地(傾斜度30度、高さ5m以上)において、次に該当する区域。
●上端から水平距離10m以内 ●斜面 ●下端から水距離で急傾斜の高さ(h)に相当する距離の2倍以内(最大50m)

イエローゾーン
レッドゾーン
がけ崩れが発生したとき、土砂の力が建築物の崩壊することのできる力を上回り、人命に大きな被害が生ずるおそれがある区域

こんな時は危険!
●山崩れがする
●川が濁り泥木が混じる
●雨降りが止むと川の水位が低下

土石流イメージ図
警戒区域
特別警戒区域
土石流とは
山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されるものをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬のうちに人家や畑などを壊滅させてしまいます。

イエローゾーン
レッドゾーン
土石流の発生のおそれのある渓流において、谷出口から下流の深床勾配が2度以上の区域

イエローゾーン
レッドゾーン
土石流が発生したとき、土砂の力が建築物の崩壊することのできる力を上回り、人命に大きな被害が生ずるおそれがある区域

こんな時は危険!
●井や井戸の水が濁る
●川が濁り泥木が混じる
●斜面がひび割れやす
●斜面から水が湧き出す

地すべりイメージ図
警戒区域
特別警戒区域
地すべりとは
斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土塊量が大きいため、甚大な被害を及ぼします。また、一旦動き出すとこれを完全に停止させることは非常に困難です。我が国では、地質的に弱い層であることに加えて梅雨あるいは台風などの豪雨により、毎年各地で地すべりが発生しています。

イエローゾーン
レッドゾーン
地すべり区域、及び地すべり区域下端から地すべり地帯の長さに対応する距離(L)の範囲内の区域(最大250m)

イエローゾーン
レッドゾーン
地すべりが発生したとき、土砂の力が建築物の崩壊することのできる力を上回り、人命に大きな被害が生ずるおそれがある区域

気象・防災情報等の入手先

降雨予測、レーダー雨量、土砂災害警戒情報等に気を取り、想定される被害を常に考えて行動することが大切です。

テレビ・ラジオ(NHK)の他、以下の方法で情報を収集することが出来ます。

多治見市防災アプリ
FMピコ
おりべチャンネル
多治見市緊急メール
テレホンガイド防災無線

気象情報全般
岐阜県地方気象台
岐阜県総合情報ポータル
岐阜県土砂災害警戒情報ポータル
岐阜県土砂災害警戒ポータル
国土交通省川の防災情報(レーダー)
河川水位観測情報

5段階の警戒レベルと命を守るための行動

警戒レベル	警戒レベル 1	警戒レベル 2	警戒レベル 3	警戒レベル 4	警戒レベル 5
多治見市からの避難開始					
避難準備・高齢者等避難開始					
避難勧告・避難指示(緊急)					
災害発生情報					
災害への意識を高める	最新の防災気象情報等に留意するなど、災害への心構えをしってください。	ハザードマップ等で避難行動を確認し、避難の準備が整い次第避難を開始してください。	避難準備・高齢者等避難開始時高齢者は速やかに避難	速やかに避難 / 避難を完了	命を守るための最善の行動をとる
気象庁からの避難情報	早期注意情報 ※避難の可能性が極めて高い場合	大雨注意情報 洪水注意情報 氾濫注意情報	大雨警報 洪水警報 氾濫警戒情報	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	大雨特別警報 氾濫発生情報
注意情報の説明	大雨による災害が発生するおそれがあると思われるときに発表。	大雨による重大な災害が発生するおそれがあると思われるときに発表。	大雨による土砂災害のおそれがある時に住民の自主避難の参考となるように発表。	台風や集中豪雨などにより数ヶ年に一度の規模となる大雨が予想される場合に発表。	台風や集中豪雨などにより数ヶ年に一度の規模となる大雨が予想される場合に発表。

雨の降り方と災害発生の関連性

雨の降り方	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
1時間雨量(mm)	10～20mm	20～30mm	30～50mm	50～80mm	80mm～
状況	長時間続く場合は警戒が必要	朝晩や下流、小川が溢れ、小規模な土砂災害	下水道から雨水が溢れ、土砂災害が必要	マンホールからの吹き出し、土石流が起こりやすくなる	大規模な災害の発生するおそれ、激しい土砂災害が必要
感じ方	地面からのぬれ返りで足元がぬれる	地面一面に水たまり	傘をさしていても濡れる	傘は役に立たなくなる	窒息しなくなるような圧迫感や、恐怖を感じる

わが家の避難情報(マイタイムライン)

ステップ1 誰と避難する?

誰と? 連絡先は?

ステップ2 何をもちて避難する?

何を? 大きさは? 重さは?

ステップ3 安全な場所はどこ? (通常時)

徒歩なら → 分 / 車なら → 分

ステップ4 安全な場所まで片道何分? (豪雨時)

徒歩なら → 分 / 車なら → 使用不可 (渋滞による二次災害発生のおそれがあります)

ステップ5 避難を判断してから家を出るまでに何分?

徒歩 → 分

ステップ6 要配慮者を支援するのに何分?

徒歩 → 分

ステップ7 避難を判断してから安全な場所まで何分?

徒歩なら → 分 / 車なら → 分 / 豪雨時なら → 分

我が家の避難情報(マイタイムライン)

気象情報	大雨に関する気象情報	注意報	警戒に切り替える可能性が高い注意報	警戒	警報	大雨特別警報
警戒の危険度分布	注意報	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
水位情報	注意報	警戒	警戒	警戒	警戒	警戒
避難情報	避難準備・高齢者等避難開始	避難勧告	避難指示(緊急)	災害発生情報	災害発生情報	災害発生情報
日中	認める(気象情報に注意する)	認める(情報を充電しておく)	認める(非常持ち出し品の確認をする)	認める(要配慮者避難開始)	認める(避難開始)	
夕暮れ時	認める(気象情報に注意する)	認める(携帯を充電しておく)	認める(非常持ち出し品の確認をする)	認める(避難準備を始める)	認める(避難開始)	
	認める(避難経路の確認をしておく)	認める(避難経路の確認をしておく)	認める(避難経路の確認をしておく)	認める(避難完了)	認める(家族に連絡)	
						レベル5では既に災害が発生しています。レベル5になる前に必ず避難を完了しましょう。